

刊夕日三十月十

常磐每日新聞

定価一圓五錢... 印刷所 常磐毎日新聞社

三つの耳(下)

中柴光泰

そのうちに、
耳傾けよ、あれ聞える
波がサト引き、又寄せて
は
高き磯に打上げる
小石の軋る音が
起つては絶え
絶えては又起り
そらにふるふ抑揚を以
て
永遠の悲調を奏でつゝ
昔、ソオクリーズが
イージャンの海に、それ
をきいて
濁りにこる人の世の
満干の憂さを
歎いたのであつたが
われも同じく
その思ひを
遠き北海の
波の音にきく
燦爛とした錦帯のやうに美
しかつた昔日の信仰を顧み
一方彼は剥き出しの荒磯の
やうに落莫たる現世の不信
を怨むのである。何といふ
深刻な海の音の誘ひであら
う。

つたパイロンは不羈多感な
自らを、そこに見出したの
でもあらうか、
無数の耳の所有者といつ
てもよい自然詩人ウアーズ
ウアース(一七七〇—一
八五〇)にとつては、凡て
の自然音は、單なる音では
なくて、神の聲であり、靈
の囁きであつた。有名な
『郭公』の詩の中で、彼は
おゝ、郭公よ
私はお前を鳥と呼んでい
ゝのか
それとも單に
さまよふ聲と呼ぶべきで
あらうか
と言ひ、又その後で
お前は
見えざるものだ
聲だ、神秘だ
と彼は驚喜する。そして彼
は法悦に咽ぶ、神の體驗に
よる辨證である。超人間と
の靈交である。彼は確信す
る『自分は自然への捧げも
のである』と。

同時代の抒情詩人、シエ
リーはその『雲雀』の冒頭で
極地を示すものである。
海の貝殻を歌つたものは
おゝ、快活な魂よ
お前は決して鳥ではな
かつた
と歌ふ。彼にとつてもやは
り、雲雀の聲は單なるそれ
ではなくて、自由感情の象
徴を、そこに見出して彼は
渴仰するのである。
ナイチンゲール(夜啼鳥)
の詩に、美の慾求を寄托す
る前の桂冠詩人ブリジエズ
がある。詩人としての自己
の天職をナイチンゲールの
歌に對比するウイリヤム・
クーパー(一七三一—一
八〇〇)もある
この種の詩歌も東西に隨
分多いであらう。私は最後
に音なきに音をきく神秘的な
耳の存在について一言する
蕪村の句に
粽解いて芦吹風の音聞か
ん
丸盆の椎にむかしの音聞
かん
といふのがある
確かに、これは詩心の一
極地を示すものである。

初九先生慰問

渡邊何鳴

灯取虫月のとほそにこぼれけり
ちらちらと灯虫こぼる、楡垣かな
青蚊帳にこぼれて白き灯蛾かな
提灯にぶつかり落ちし灯蛾かな
灯油に灯虫の粉のうかみけり

わが國には少いやうである
が、流石に英國には多い。
そして申合せたやうに英詩
人は、きつと、貝殻を耳に
あてる。そして、音なきに
音をきくのである。貝殻は
唇を持つてゐる。そしてそ
れは詩人に超自然の言葉を
囁く。「墓を越えた先の世
の囁く、聞える」とある。詩
人は歌ふ。又それは、戀人
の言葉を代言する粹な役割
も務めて呉れる。
それは實は空、耳に過ぎな
いのであらう。しかし、私
はこうした英詩人の態度を
床しく思ふ。し人の耳は限
りなく美妙である。(完)

サビー第一 カフエー一タス現出

本當に感じの好い
一九三一車型の
カフエー...
スター
が生れました。皆様
の御引立を偏に御願
申上ます。
味覺の殿堂
◇出前迅速電話を御
利用下さい
●女給募集
向部車動自澤芹 番七一六(呼)話電 町南町平
一タス◇一エフカ

正確な時計



お客様本位の...
好適の眼鏡

來る十六日より五日間公開

大作 (察偵の曉)
演主氏スメルセーパ、ドーヤチリ
忽然としてそ
の巨姿を我映畫
界に現はし絶讚
激賞、好評、感
嘆の限りを一身
に集めて早くも
斯界の問題とな
れる空前絶後の
記録的大空中戰
映畫『曉の偵
察』は飽くまで
眞實に迫り、力強く盛り上がり、觀る人の心にひし
／＼と喰ひ込み陰慘醜き戰爭の實體を暴露した、之
は實に素晴らしい空の西部戦線映畫である、此の戦渦
を描ける一篇こそ來るべき世界大戰の暗示に非ずし
て何ぞや...



東亞キネマ現代劇

天の下の副將

【卷八 篇二第】
柳青・郎太菊・門羅
演共 下木・子駒原
入場料 小中大 人等 五生二 錢錢十

次郎吉ザンゲ

帝キネ時代劇
雲井龍之助主演
東亞キネマ現代劇
跳る若者



冬の學生服

●景品付特賣●
生地にお値段に裁縫に
この自信をお買下さい

黒小倉長ズボン付
一年生用 八十五錢ヨリ
弊店特製 一圓卅五錢ヨリ

モリタヤ洋品店
電353 平5丁目

品景	特製名入鉛筆
	半打宛進呈

郡下の模型飛行機競技 更らに第二回大會開催

▽…會場を磐中校庭に改めて ▽…參加機飛揚に全能率發揮 賞品を山積す

いづみや玩具店主催本社後援に依つて催された第一回郡下模型飛行競技大會は當時所報の如く參加者や觀覽者が頗る多く豫期以上の盛況を呈したが會場である平第一小學校の校庭が狭いために折角飛揚した飛行機が樹木其他に障害されて全能率を發揮する事が出来ず甚だ見る者をして残念がらせる場合が尠くなかつた、其爲めに再び適當な場所を選んで是非開催して貰ひ度いとの要求が益々多し事に鑑みい

廿五日午前九時花火

グランド型高級蓄音機 (二等) 特製マンドリン (三等) 高級ビンボンセツト (四等) 新型銀笛 (五等) 獨逸製ハーモニカ (以下十等まで)

明治節を卜し 平婦人會總會

講師は倉橋氏か吉岡女史

平婦人會にては昨日午後一時から平第二小學校講堂に於て幹部會を開き總會開催の件に關し協議を遂ぐる處あつたが例年通り來月三

夫々大奮發を爲すの外等外であつても參加者には洩れなく記念品を贈呈する由であり此舉あるを既に聞き知つた平町のファンは日夜參加機の試験

研究に 餘念なく街頭空高く飛ぶ模型機は秋の日の一景物的觀物として思はず行人の足を止めしたる等飛行機熱を益々煽り立て、居るから大會當日の盛況は第一回に増して更に絶大なるものあらうと期待されて居る

持蘭多し 四倉市場で 營業を延期

石城販賣利用組合の四倉市場は本月十五日を以て晩秋蠶の取引を一切の豫定であつたが一般養蠶家の持蘭が未だ相當有る模様なので協議の結果廿日迄營業を延期する事に決定した

上水道工事視察 猪股縣技手來平

目下着々進行中の平町上水道の擴張工事について縣土木課技手猪股三郎氏は本日來平同工事の事業を視察する處があつた

泣かした雨 第二の生徒を けふの運動延期

平第二小學校の陸上運動會は本日開催の豫定であつたが朝ビカリと秋晴れの好日和を見せたと思ひきやザアツと降り出した雨に中止となつた爲め生徒等の失望一方ならず父兄も共々落胆した、次ぎの開催日は未だ決定しないが天氣になり次第決行の豫定であると

神谷の忠魂祭 石城郡神谷村在郷軍人分會では

來る十七日午前十時から同村忠魂祭を執行

今日話 の題

◇結婚を輕んずる者は、戀愛を重んじ結婚を重んずる者は、戀愛を輕んじる
◇女同志の友情は、男と女との友情よりも不純なものが多い
◇戀愛のいゝところは終りがないと云ふ事である
◇若しも彼女がドモリだつたら温順な優やかな女だとほめなさい
◇若しも彼女がお喋り女だつたら、非常に明るい感じのする社交婦人だとほめなさい
◇若しも彼女が骨と皮との瘦つぽらだつたら、スラリとしたスタイルの優美をほめなさい
◇若しも彼女がデブさんだつたら、肉體的健康美をほめなさい
◇若しも彼女が背高のつぼだつたら、洋裝美をほめなさい

本郡若松中佐の手記 (下) 滿州事變に於ける 騎兵第二聯隊情報

△公主嶺殘留隊の状況
十九日午前七時聯隊出發後殘留隊長少佐以下五十三名(調教手八を含む)は直に軍旗、兵器、彈藥を聯隊の復讐たる炊事場に奉安並に集積す而して不用建築物を閉鎖すると共に駐屯地警備規定に基き警備の配置につき且つ計畫に依る工事を爲す同日夕刻警察よりの依頼に依り支那町に適當なる橋梁を爆破す、翌廿日四圍の情況に鑑み軍旗を獨立守備歩兵第一大隊に奉安す、而して晝夜嚴重警戒に任しありしが廿二日午後八時卅分突如支那町方向に支那敗殘兵を混入する馬賊團機關銃二を有し其の兵力約二三百は奇襲する處となる、その一部騎兵營附近に現出す、殘留

原稿募集

りて晝夜警戒怠りなく九月廿七日以後義勇團は夜間のみ警戒す、此の間小馬賊及二三よりなる支那兵の横行する者あり警戒兵之を射殺せり (完)

秋の月

もくせいと龍膽

秋の香の象徴と やるせなき花容

酒倉の酒とかたへの木屋ともつれて匂ふ故里の家もくせいの強烈な芳香が甘い感覺をそゝつて秋の日の道に漂つてゐるなつかしさは支那あたりでは若い戀人のさしやきに喩へられる景情だ

もくせいは香りの花である、數町離れてゐてももくせいがあるかと判る、本邦には金もくせい、銀もくせいと二種あるが原産地支那には金桂、銀桂、紅桂とある、フランスの北部地方では非常に歡迎されて裁

木犀は幹高く觀賞用の樹木にしていみじき秋の香りを街へ放つ……秋はゆたかに深みきて、やううそさむく感じるころそれは我々にとつて嬉しき秋の花情である

さびしさよ落葉がぐれに咲きてをる深山りんだうの濃むらさきの花(秋水) 龍膽(りんだう)は學名をゲンチアナ・スカといふ

紫紅色、稀に白色の楚々とした風情で千草の中にやるせなくゆらめいてゐる姿は一層秋色を深めるもの……紅葉狩の山路ゆく足もとにいと珍らしく我々は少女文學の作品から何がなし涙をそゝられた花

狂人紅火の中に笑ひ

昨夕神谷で五棟全半焼

損害高は約五千圓の見込み 原因は悲しき落伍者の失火

昨十二日午後四時石城郡神谷村大字上神谷字下三木村徳松方より發火附近の者消防隊馳けつけたが水利の便悪く遂に住家二棟非住家二棟を全焼し尙隣家の木村環方を半焼同五時半鎮火したが損害約五千圓であるとの原因について平署で取調べた所前記徳松弟忠吾は精神病者で監置してゐたがこの日忠吾は寒さのため暖をとらんと附近に遊んでゐた子供からマッチを貰ひ点火したのが遂に大事を引起したものでらしく忠吾は

發火と共に大聲で救助を求めつゝ家人が消火に努めてゐる際に行衛を晦ましてしまつた

一方同日午後六時頃平町材木町飲食店一心亭へ一名の怪漢が飛込み譯の判らぬ事を喋り乍ら大聲を發して

居合した客に喰つて掛り仕末に困つてゐる所を平署員に檢束されたが前記神谷村の火災原因調査中の署員から犯人は精神病者であると木村忠吾とケロンとして

何れへか逃走した旨知らせが来たのでサテは所持品を調ると衣類三点と袂の中には新しい使残しのマッチを發見したので姓名を尋ねると木村忠吾とケロンとして

申立てたので漸く前記神谷村の精神病者と解り目下同居に留置中

博覽會開催計劃に

平町議が中心

種々具体事項を打合せ

先年大成功裡に終始した國産獎勵産業博覽會の計劃者伊東一氏は再び

平町に大々的に博覽會を開催する目論見を以つて種々準備中の處來年三月には目下の水道擴張工事も完成を告ぐる事として是れが披露祝賀の意味から遠近より人を呼んで不景氣を激退して雨の日も風の日とも必らず鐘を撞かぬ日はなく斯くして今日まで十八年間東往西來する人々にまで平町の名物と謳はれた、來る十五日はこの「時」の恩人市川長作老が地下に眠りゆく日、街の人々は此の後も鐘の鳴ることに亡くなつた爺さんを思ひ出すに居られぬであらう

思ひ起す 時の老人

昔ながらの 鐘の餘韻に

きのふの朝、鐘撞堂の市川長作爺さんが六十七を最期として永眠した、街の人々は「時」が平驛からサイレンで報ぜられるやうになつ

する上に於ても打つてつけの催であると爲し各方面よりの期待大なる爲め町會議員は此の催しの中心となつてきもいりする事となり本日午後一時より町會議室に

砂利人夫

押掛ける

「失業者を救済せよ」

平町水道工事瀆過地砂採取場人夫三十名は今十三日午前十一時半頃平町水道部へ押掛け失業者救済に就き陳情する處あつたが同工事は町營でなく好問村請負の爲め平職業紹介所登録の人夫全部を使用し得ず失業に苦しむ者が二百名に及ぶので速やかに之を町營とし失業人夫を救済して貰ひたいと

戀はうれしい

三千圓を拐帶して

浮世離れの温泉めぐり

栃木縣芳賀郡祖母井町宇與能石炭商ミツ長男小林道徳(三)は去る一日午後四時頃石炭の賣掛代金二千八百九十圓を拐帶して馴染を重ねて居た同町某カフエー女給君子(三)と手を取り行衛を晦して以來各地の温泉を廻歩き夫婦氣取りで旅行を續

明日のラジオ

十四日

報豫氣天

今晩は北風の強く雨明日は北東の風強く午前中雨午後より回復の見込み

今晚の部

- 後六、〇〇 童話「幼兒への自然断」上澤謙二
- 後六、三〇 英語講座中等科第三講の一勝侯詮吉郎
- 後七、三〇 講演「國民と保健」安達謙藏
- 後八、〇〇 義太夫「壺坂靈驗記」
- 後八、四〇 小唄「もみぢ」他小唄幸兵衛
- 後九、〇〇 連續講談「伊勢の初旅」第一席神田伯

明日の部

- 後九、四〇 時報 全國ユース 氣象通報 番組豫告 生齒相場
- 前九、一〇 料理献立「サイモン・ロケット」
- 前一〇、三〇 家庭講座「社會生活の淨化」高橋守雄
- 後一〇、〇五 浪花節「彌作の鎌腹」雲井雷太郎

市原醫院

平町 田町 電話一四四番

寒さ加はる

氣まぐれなる 天候不順

秋甜はとなつて變態的な氣候が一時平町地方を襲ひ先月下旬には攝氏二十五度といふ六月上旬頃の暑さを示し更に昨今に至つては極度に氣温低下し今朝來の降雨で午前中は攝氏十度五分となり尙次第に寒さが加はる一方だらうが稲作には影響ないものとみられてゐる

石城藪取引状況

△四倉藪市場 十月十二日 (白藪) 二九七貫(最高) 三圓十二錢(最低) 二圓七十七錢(別) 二圓八十七錢

平町人事

□ 出生
△二月二日 伊藤留喜氏長女
△紺屋町三七 渡邊繁見氏二男朝壽
□ 死亡
△接橋小路廿九 市川長作(六七)

旅費願ひの 土工ルンペン

北海道から 本日午前十時頃平町人事相談所へ土工風のルンペンが訪れ旅費の貸與を願出たが同

鈴木選手祝賀會

石城郡豊岡村青年團では本日午後六時から同村小學校

小説 大団圓

(五十九)

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

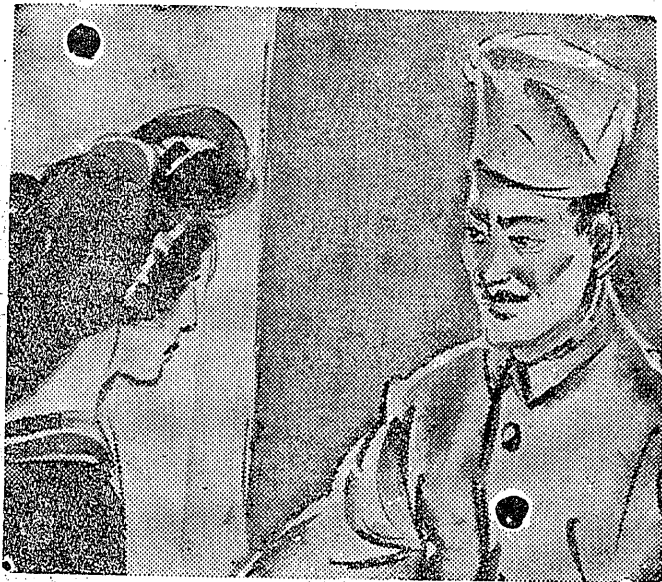
【載轉禁】

櫻散る夜 (3)
源之助は今日高野が来た時
には別段そんな急な話も無
かつたやうに思つて居たが
扱て屹度彼女には何か思ひ
寄せた深い變事でも起つた
のではなからうかと聊か不
審な疑ひに陥つた。

「あゝ、そうだ。父さんが病
氣……病氣だと言つた
やうな語がまだ耳に残つて
ゐる。それで千代さんが……
併し訝しいぞ、大し
た病氣なら川島から知らせ
て來さうなものだが……
事に寄つたらさうだ。あの
又彼女の手管で俺を引張り
出さうと思つてそんなこと
をつくつて言つたのではあ
るまいか……はてな。」
彼は「さういふやうなこめ
かみを双の手で強く厭し付
けて、じつと考へ續けてゐ
た。」

「あゝ、睡い。あたゝい寝ちま
うことよ。左様なら」
ヨフラマは紅い口を一杯に
あいて大きな欠伸をしながら、
またばたりと寢返りう
たせた。

ちやうどその時、歌治は跛
をひくやうに躡ばひながら
庭園をぐるりと廻つて、俱
樂部の裏門近くにあるコッ
ク部屋の軒下に立つた。



「もしもし、ちよつとお頼
み申します。」
歌治は灯の消えぬうちにと
急いでコックと戸を叩い
た。すると厨丁は電燈のキ
イをひねりかけた手を停め
て不思議さうに眼を光らせ
たさうしてあちらこちらを
見廻りながら何處から聲が
したと言つた顔付でキョロ
／＼とした。

一人の厨丁が只一ツだけ
残つた電燈を手繰寄せて消
しにかゝつてゐるところ、
白いエプロンの上に仰向か
せた顔が可なり齡をとつて
ゐる人らしかつたやうに見
えた。
その背後に皿や壺などを陳
べた棚がちらりと見えて居

「あんた、一體全體今頃になつて何處から來なすつんで……どなたですか一體。」
「きよとくした様子で尋ねた。」
怪しまるゝ筈、髪は亂れ、襟はくつろぎ、足袋跳しの秩序のないその風體をしてゐるものを、と心づいた歌治は急に體裁悪くなつて、強て粧笑ひをしながら、
「い——え、あの、あたし何ですの此の俱樂部に遊んでゐる或る方に會はうと思つて尋ねて來た東京の者なんですの、そしたら貴老、この方がね。ひどく酔はらつてゐるもんですから、譯もなく怒ッ腹を立て、私を踏んだり、蹴つたり、さんざん折檻をするんでせう、それでこんな見苦しい風裝になつちまつたんですの。ほんとに詰らない目に會はされつちまひましたわ。」

融金替爲・債公・券債
店質井田多
町工大町平
番一九五話電

毛糸と編物用具
全部新色三二一
入荷致しました
相變らず御用命の程……
平田町ハシモトヤ糸店

お茶の値下斷行
本場銘茶の優良品を一段と品質を向上致しまして英斷的値下致しました、何卒御試飲下さいませ
煎茶四十目袋入 十錢より五十錢まで
ほりよい家庭徳用別焙
ほうじ茶四十目袋入 十五錢 第二號十錢
配 風味 平町三丁目 大勝園 鈴木義忠 電話九六番 速 達

吉田眼科病院
平紺屋町、電話六八番
阿康藥舖
靈効散
寒い北海道で出来る靈藥
胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥
松前公御典醫之秘法 家錄
家傳 藥標商標
靈効散
胃腸病で苦しむ方、心臓、腦病、痔疾の方は是非御試して下さい、見本藥は御希望の方に進呈致しますから御遠慮御申出下さい、本藥は有り觸れた胃腸藥の様に一時抑へや習慣性になるものでなく確かに根治の目的を達します、効き目が効能書以上でアイフの三分の一安價で効はアイフ以上値段が安いものではから實際大評判の靈藥です、本藥は責任藥に付き無効の時は返金致します(定價は八日分五十錢です)
靈効散 平町古鍛冶町(電話四四番)
地方代理店 阿康藥舖

美味!
芳醇!
宗正らひた
山崎合名會社
電話一〇番